

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年 4月17日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：17件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	プロセス放射線モニタ系排ガス復水器出口サンプリング出口弁の開閉表示ランプ用リミットスイッチに動作不良が認められたため、当該リミットスイッチを点検・調整	D	
2	2号機	気体廃棄物処理系活性炭ホールドアップ装置の制御用空気圧縮機冷却水配管の接続部より水のリーク（微量）が認められたため、当該部を点検・修理	D	
3	3号機	タービン建屋換気空調系冷却装置（8）用圧縮機（B）の点検において、シリンダ（No. 1）の吸込弁用パネ穴に摩耗が認められたため、当該圧縮機を交換	D	
4	3号機	ページング装置（原子炉建屋3階燃料プール冷却浄化系熱交換器室内設置）の送受器用コードの被覆に亀裂が認められたため、当該コードを交換	D	
5	3号機	廃棄物処理系床ドレンろ過器入口弁にシートリークが認められたため、当該弁を点検・修理	D	
6	4号機	タービン補機冷却系熱交換器（A）廻りのドレン弁（6台）及びベント弁（3台）の点検において、シートリークが認められたため、当該弁全数を交換	D	
7	5号機	電気油圧式主タービン制御装置室換気空調系の移送排風機用Vベルトが破断したため、当該ベルトを交換	D	
8	5号機	所内ボイラ設備給水ポンプ（B）のグランド部より水が飛散しているため、当該部を点検・修理	D	
9	5号機	原子炉建屋排気ファン出口試料採取盤内の試料採取用フィルタ取付け部の留め具（上下2箇所）に破損が認められたため、当該部を点検・修理	D	
10	5号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器入口水のサンプリング元弁にシートリークが認められたため、当該弁を点検・修理	D	
11	6号機	復水前置ろ過装置再生用水供給元弁の点検において、弁駆動部側に動作不良が認められたため、当該部を点検・修理	D	
12	6号機	原子炉給水ポンプ駆動用タービン（A）用回転数指示計の点検において、指示値不良が認められたため、当該指示計を交換	D	
13	6号機	原子炉格納容器内非常用冷却スプレイ母管の内部点検において、上部スプレイ母管内のスプレイノズル付近に異物（ゴム製の膜：直径約2.5cm）が発見されたため、回収	C	
14	6号機	循環水配管用電気防食装置の点検において、電線管に腐食が認められたため、当該電線管を修理	D	

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
15	6号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器バイパス弁の浸透探傷検査において、弁体に浸食を示す指示模様が認められたため、当該弁体を交換	D	
16	6号機	第5給水加熱器（C）入口逆止弁の点検において、弁付合せ溶接部に浸食が認められたため、当該部を修理	D	
17	6号機	主蒸気系配管用油圧式配管サポート（2台）の点検において、油配管の接続部に油のにじみが認められたため、当該部を点検・修理	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

<原子力発電所における不適合事象の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」（JEAG4101-2000より）

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

<注 意>

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話：0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで